



ガソリンまいて放火 か！

—西日本防災システム

2016 02 13

2015年神奈川県川崎市の簡易宿泊所2棟が全焼し、
11人が亡くなった火災 覚えておられますよね！



消防、警察などの詳しい調査で、結論が出たようです。玄関から**ガソリン**の成分が検出されたことなどから、何者かが**ガソリンをまいて放火**したとする報告書をまとめたようです。

火災は、2015年5月川崎市で2棟の簡易宿泊所が全焼し、11人が亡くなり、17人が重軽傷を負ったものです。

川崎市消防局によりますと、1棟の簡易宿泊所の玄関回りからガソリンの成分が検出されたそうです。現場の状況を実際の火災と近づけて再現実験を行ったところ、ガソリンがまかれ、火をつけられた可能性が高いそうです。これらの検証を踏まえて、川崎市消防局は何者かがガソリンをまいて放火したとする報告書をまとめたようです。警察は放火と断定する証拠が現時点ではないとして、放火と失火の両面で捜査を続けています。

もし放火だとするならば 許せない卑劣な行為です！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

